

31 医学教育担当部門の現状^{*1}

恒川 幸司^{*2}

1. 医学教育担当部門の成立過程と拡がり

医学の進歩とともに、医学の分野は細分化され、各講座が自身の専門的領域を教えるようになった。一方で、統合的な教育や初学者への教育もまた、初期研修制度の開始などを受け、社会的なニーズとして重要視されるようになった。さらに、教育改革に伴い、CBTやOSCEの実施やそのための前臨床的な訓練などが必要となり、より全医学部として対応すべき教育内容が増えていった。

そのような経緯から、医学部内に教育の専門職的な教員と組織が設置されるようになった。この組織を「医学教育ユニット」と呼ぶ。わが国では、順天堂大学の医学教育研究室（1972年）が最初であり、それからかなり年月を経て1995年、東京女子医科大学に医学教育学教室が設置され¹⁾、その後次々と各医育機関に医学教育ユニットが設置されていき、現時点（2021年9月30日）では、全医学部・医学校82校中81校と99%の医育機関に教育担当部門が存在している。さらに、医学教育分野が発展していくにつれ、卒後研修センター、地域医療部門、シミュレーションセンター、IR室などといった、各領域に専門特化した医学教育担当部門も医学教育ユニットとして含まれるようになっていく。

このように、医学教育分野は比較的新しい分野であり、新規の取り組みに戸惑うことも多かったため、情報の交換を求めて自然発生的に“集まり”がもたれることとなった。これが「医学教育ユニットの会」のはじまりである。医学教育ユニットの会は医学教育担当部門の教員（ユニット機関会員）および医学教育担当部門

の活動に関心のある有志（ユニット機関外会員）から構成される。事務局は岐阜大学医学教育開発研究センター（MEDC）にあり、医学教育ユニット機関名簿を会員の申告に基づき編纂し、逐次MEDCホームページに掲載するとともに、毎年4月時点での名簿を日本医学教育学会誌「医学教育」に掲載している²⁾。

医学教育ユニットの会の現況および前回白書³⁾（4年前）のデータを表1に示す。医学教育ユニットの会の全会員数は1,066名であり、そのうち906名がユニット機関会員であり160名がユニット機関外会員である。また、医学教育ユニットの会はメーリングリストを使って逐次情報共有を行っているが、1,030名が当メーリングリストに登録している。また、ユニットの会名簿中に医学教育担当部門は245部門存在している。これらはすべて前回白書の実数を大幅に上回っており、医学教育分野が急速に進歩していることがうかがえる。

表1 医学教育ユニットの会の現状と4年前の状況

	2021年 9月30日	2017年 9月30日
医学教育ユニットの会 全会員数	1066	801
ユニット機関会員	906	676
ユニット機関外会員	160	125
メーリングリスト 登録者数	1030	691
ユニット機関を有する 医学部・医学校	81	79
医学教育担当部門の 総数	245	175

2. 活動状況

医学教育ユニットの会における活動は、基本的に2つである。1つはメーリングリストによ

^{*1} Current Status of Medical Education Departments

^{*2} Koji Tsunekawa 岐阜大学医学教育開発研究センター

る情報共有、もう1つは、年に一度の日本医学教育学会大会に合わせて実施される顔合わせ会（総会）である。医学教育ユニットの会メーリングリストでは、セミナー、ワークショップなどの開催案内・情報共有の他、アンケートも多く実施されている。特に、2019年度末～20年度にかけて、COVID-19の蔓延に伴う医学教育の大幅な変更に関する情報共有や調査が盛んに行われた（表2）。情報共有・調査の内容としては、臨床実習やオンライン授業に関するものが多かった（表3）。

表2 医学教育ユニットの会メーリングリスト内のスレッド数とコメント数の年次変遷

年度	スレッド数	コメント数
2018	83	200
2019	125	451
2020	144	503

こういった回答や意見を共有し、貴重な情報源として自大学の教育実践で活用することは、ユニットの会の重要な存在意義であると考えられる。なお、メーリングリストで実施されるアンケートは、回答が必ずしも機関を代表したものではないことから、「本メーリングリストで収集したデータは、正式な研究データとして取り扱わない」ことが、医学教育ユニットの会の申し合わせ事項に付記されている⁴⁾。

日本医学教育学会大会に合わせて開催されるユニットの会の総会もCOVID-19の影響を受けた。2020年の第52回大会はCOVID-19の蔓延により紙上開催となり、それに伴いユニットの会総会も残念ながら中止となった。しかしながら、2021年の第53回大会では、全コンテンツがオンライン開催となったことを受け、ユニットの会総会もZoomを利用してオンラインによる集会を実施することとなり、64名の参加者によって無事に開催することができた。主催校の自治医科大学には、改めて感謝の意を表したい。

3. 今後の課題と展望

前述したように、実質的にほぼすべての医育機関の医学教育ユニットがメーリングリストで

表3 COVID-19に関する医学教育における情報共有・調査の内容

Covid-19に関する医学教育の情報共有・調査の内容(50音順)
ECFMGをめぐる状況
e-learningでの単位認定
PBLテュートリアル運営
Post-CC OSCEの実施状況
Student Doctorへのワクチン接種
Zoomの有料アカウントと無料アカウントの違い
医学生のPCR検査の費用
インターネット環境が脆弱な学生への支援
遠隔講義での評価
オンライン授業の実施ガイドライン・マニュアル
オンライン臨床実習
海外臨床実習の中止
解剖実習の実施状況
学生への臨時の修学資金・生活資金援助
休止した臨床実習の補充
クリニカルクラークシップの休止と再開のめど
研修医オリエンテーション
研修医採用試験
研修医の研修状況
就職活動などに伴う移動とその制限への対応
対面講義の実施
部活等課外活動の参加制限
留年生の増加
臨床実習休止中の医学生の自己学習コンテンツ
臨床実習再開時の感染有無検査
臨床実習再開の基準
臨床実習中止に当たっての卒業要件

繋がって、医学教育に関する議題を意見交換できる環境となっていることは、当初の目的を達成した上に、今後においてもたいへん意義のあることと考えている。実際にCOVID-19による諸問題が巻き起こった際には、本メーリングリストの重要性を再確認することができた。一方で、ユニットの会の会員は経年的に増加しており、毎年の機関名簿のコントロールなどが次第に大変になってきていることは否めない。今後は、事務局の機能を充実していくことによって、より医学教育から医療者教育へ、国内から海外へと情報共有の場を増やしていくことが期待される。

■文 献

- 1) 丹羽雅之. 医学教育ユニットの現状. 医学教育白

- 書 2014 年度版. p.116-8. 篠原出版新社, 東京.
- 2) 医学教育ユニット機関名簿. 医学教育 2021:52 (4): 365-87.
- 3) 丹羽雅之. 医学教育担当部門の現状. 医学教育白書 2018 年度版. p.139-42. 篠原出版新社.
- 4) <https://www1.gifu-u.ac.jp/~medc/generalinfo/unit/unit.html> (最終閲覧日: 2021.9.30)